

【理念】 「愛し愛される病院」

【基本指針】

- 1、私たちは、患者様、ご家族に「おもいやり」をもって接します。
- 1、私たちは、地域に信頼され貢献できる医療を提供いたします。
- 1、私たちは、患者様の在宅復帰を支援いたします。
- 1、私たちは、診療記録を正確に記載いたします。
- 1、私たちは、自己研鑽しよりよい病院を目指します。

【患者様の権利】

- 1、患者様は医療に関する説明を十分受けた上で、治療を受ける権利又は拒否する権利が有ります
- 2、患者様は医師、医療従事者が患者様の知り得た個人情報を守られる権利が有ります
- 3、患者様は病院、医師を自由に選ぶ権利が有ります
- 4、患者様は安全で適切な医療を平等に受ける権利が有ります
- 5、患者様は診療録の開示を求める権利が有ります

ごあいさつ

あけましておめでとうございます。

杉並リハビリテーション病院は全101ベッドすべてが回復期リハビリテーション病棟だけの病院です。

回復期リハビリテーション病棟は、脳梗塞・脳出血・くも膜下出血などの脳血管疾患や大腿骨頸部骨折などの患者さまが、日常生活動作が安定向上され、安心して自宅にもどられ、さらに社会参加していくために、集中してリハビリテーションを行います。

皆様から“元気になって帰れます、ありがとう”と言っていただける病院を目指して、365日休むことなく、皆様のリハビリテーションに取り組んでいます。

新型コロナウイルス感染拡大を受けて、ご家族の面会やリハビリテーション場面の立ち合いをお断りしてきましたので、患者さまにも、ご家族にとっても、寂しい思いをさせていただいております。そこで、スマホやタブレットを用いて“オンライン”での面会やリハビリ現場の見学を当院では行っていますので活用いただくとよいと思います。今後の感染状況をみて、規制が緩和できて行ければと考えています。

患者さまご家族の皆様ならびに地域から信頼され、地域に貢献する魅力ある元気な病院として、「愛し愛される病院」の理念の下、職員一同、今年も元気いっぱい、熱い思いで取り組んでまいります。

杉並リハビリテーション病院
院長 門脇 親房

外国人技能実習生受け入れに当たって

外国人技能実習生制度とは、国際貢献のため開発途上国等の外国人を日本で一定期間（最長 5 年）に限り受け入れ、OJT（業務に必要な知識やスキルを実践しながら伝承するというやり方）を通じて技能を移転する制度です。自国で看護・介護を学んできた実習生にとっては、より質の高い看護・介護を学ぶ機会となります。

新型コロナウイルスの影響で入国制限があり当初の予定より大幅に遅れておりますが、当院では今年度より技能実習生2名の受け入れを行います。外国人の受け入れに対して不安に思われる患者さまやご家族も多いことかと思いますが、教育・生活指導体制を整え職員一丸となって指導して参りますのでご安心いただけたらと思います。

技能実習生を受け入れるにあたって必要な知識を習得するために、各担当者は技能実習責任者・技能実習指導員・生活指導員講習を受講しました。私が受講して参りました生活指導員講習では、実習生が安全に看護・介護を行うためにどのような注意喚起が必要なのか、また、日本での生活をどのように指導・監督していくかを具体的に学んで参りました。生活指導員の役割のひとつは「一番身近な日本人となること」です。私自身、講習を受講して困ったときに頼りになる家族のような存在になれたらという気持ちが芽生えました。



その講習で得た知識をもとに、外国人が住むことに理解のある大家さんを探し住まいの確保、家具の調達など生活をするために必要なものを揃えました。文化の違うお二人にとってどんなものがいいのか、前例のないことをすべて一から作り上げていかなければならず、担当としてとても苦労しました。しかし、まずは衣食住を整えてお二人がしっかり看護・介護を学べる環境を作りたいという気持ちで参りました。

また、冒頭でも少し触れましたが新型コロナウイルスの影響で入国が延期となり、母国で待機となったお二人に少しでも日本を身近に感じていただこうと二か月に一度 ZOOM での面談を続けて参りました。言葉は話していかなければ忘れてしまいます。少しでも多く話していただくために、仕事のことだけでなく好きなアニメや食べ物の話や家族のことを話して、お互いにコミュニケーションをとりました。これからは、日本での礼儀作法や身だしなみを正しく伝え、技能実習生の相談に乗るなどして問題を未然に防ぐ関係性を築いて参ります。

今回の技能実習生のお二人が当院で学んで、母国へ帰る際「日本に来てよかった」と思っていただけのようにこれからもサポートしていきたいと思っております。



総務課 宮坂 佳子



2021年度 リハビリ作品集



2021年度は数多くのイベントが中止となってしまいましたが、患者さまと共に何ができるか、当院セラピストが考え取り組んできたことの一部をご紹介します。患者さまの立派な作品から、働く私たちも力をいただきました。

(広報委員)



患者さまの声

ふれあい相談窓口(患者さまの為に相談・支援の窓口)や退院時のアンケートに寄せられたご意見・ご感想を掲載しております。

・長い期間…救急車で病院搬送、次の病院で手術、三番目が杉並でした。家を出て…たどりついて不安がいっぱいでしたが楽しくリハビリさせていただきました。ありがとうございました。(退院時アンケートより)

・入院中は不安と絶望感で精いっぱいでしたが、看護師の皆さんの優しい対応にどれだけ励まされたことでしょうか。リハビリの皆さんも皆親切で体の痛みも徐々に取れていき遂につらい痛みから解放された時の喜びは忘れられません。

(退院時アンケートより)

・コロナ禍の今日この頃、三度の食事を入院患者たちが食卓を囲んでいただけるのは、本当によいことだと思います。そうでなくても患者は孤独感におちいりがちです。話は弾む時もそうでない時もありますが、お互い元気な様子を見合うだけで元気が出ます。食事内容も垣間見たところ一人一人に気を使ってくださいっていてこれには感謝しかありません(退院時アンケートより)

【広報委員より】

当院では感染対策を十分に行い、患者さまが食堂に行き、お食事をしていただいております。顔を合わせて食事をとることは、入院中の大事な心のリハビリの一つなのかもしれません。

貴重なご意見ありがとうございました

◆ 2021年9月～12月 入院患者数と紹介元医療機関

9月から12月の4か月間における新入院患者は137名、
紹介元医療機関は以下の通りです。(順不同、敬称略)

武蔵野赤十字病院、杏林大学医学部付属病院、河北総合病院、荻窪病院、吉祥寺南病院、浜田山病院、慶應義塾大学病院、山中病院、田中脳神経外科病院、順天堂大学医学部附属練馬病院、久我山病院、東京女子医科大学病院、新渡戸記念中野総合病院、西東京中央総合病院、東京警察病院、保谷厚生病院、順天堂大学医学附属順天堂医院、東京衛生アドベンチスト病院、佐々総合病院、総合東京病院、三宿病院、練馬光が丘病院、都立広尾病院、高島平中央総合病院、練馬総合病院、国立国際医療研究センター病院、東京山手メディカルセンター、三楽病院、日本医科大学武蔵小杉病院、順天堂大学医学部附属静岡病院、小田原市立病院、君津中央病院(他2カ所)

以上、34か所ご紹介ありがとうございました。

～当院の現況～

	2021年10月	2021年11月	2021年12月
病床利用率	89.9%	88.1%	95.8%
入院延べ患者数	2,819人	2,819人	3,000人

在宅復帰率(直近3ヶ月)…90.5%

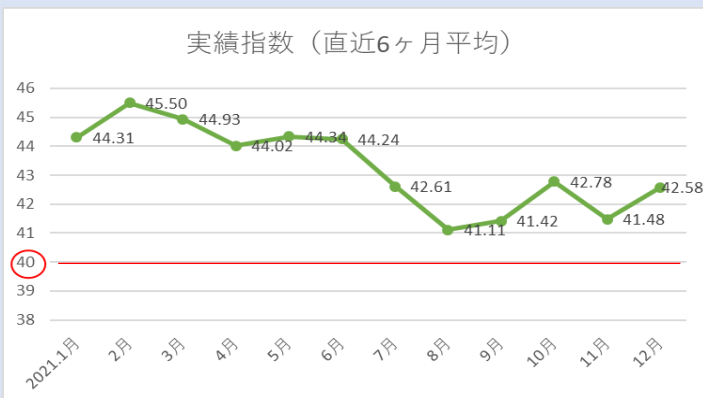
重症患者割合(直近6ヶ月)…40.5%

重症患者回復病棟改善割合(直近6ヶ月)…47.6%

※日常生活機能評価で10点以上の新規患者割合
※重症患者のうち4点以上改善している者の割合

～リハビリ評価～

実績指数	
各患者の	FIM得点の{運動項目}の退棟時と入棟時の差
の総和	
各患者の	入棟から退棟までの在棟日数
状態毎の回復期リハビリテーション病棟入院料の算定上限日数	
の総和	



病院 HP

現場スタッフの声を
動画で公開しております



Facebook

院内の雰囲気、
ご覧いただけます



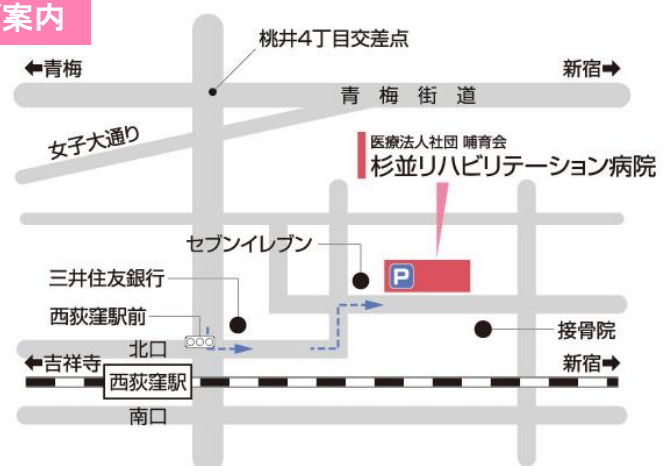
採用関係のお知らせを
配信しております



編集 後記

新型コロナウイルスの影響で現在も面会制限をさせていただいております。入院中の患者様はご家族にも会えず、寂しい想いをされていると思います。少しでも入院生活がよいものになるよう、職員一同努めてまいります。(編集委員)

交通のご案内



- 発行行：杉並リハビリテーション病院
- 発行責任者：門脇親房
- 編集：総務課